



|        |         |       |               |        |        |       |       |       |       |
|--------|---------|-------|---------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-58    | 事務事業名 | 史跡等総合活用支援推進事業 |        | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | J004023 | 開始年度  | 平成23年度        | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4052 | 作成責任者 | 文化財課長 |

| 項目  | 令和5年度 事務事業担当課による点検・改善                                     |  | ＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善   |          |
|---|---|--|---|----------|
|   | 評価  | 評価に関する説明   | 評価  | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性  | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。                               | ○ 古代体験は申し込みを開始して数日で枠が埋まってしまうものもあるほどに需要が高だけでなく、外部団体からの体験の依頼も多く、十分に郷土の歴史文化のすばらしさを周知できている。特別展や考古学講座に関しても、年々来館者や受講者が増えつつある。  | ○ 古代体験は需要が高く、身近なイベントとして認知されており、十分に郷土の歴史文化の素晴らしさを周知できている。また、特別展は市民の関心が高いものを取り上げることで、来館者数を増やしている。   |          |
|   | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。                                   | ○ 市が所蔵する資料を活用した事業であり、また専門性の高いものでもあるため、地域、民間等に委ねることはできない。   | ○ 市が所蔵する資料の活用や、専門性の高い古代体験であるため、地域や民間に委ねることは難しい。   |          |
|   | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。                  | ○ 市民に郷土の歴史文化を普及・啓発し、郷土愛を醸成するための重要な事業である。市民からの需要も高く、史跡保存とともに、優先度は非常に高い。   | ○ 市民に郷土の歴史文化を普及・啓発し、郷土愛を醸成するための重要な事業である。市民からの需要も高く、史跡保存とともに、優先度は非常に高いと考えられる。  |          |
| 事業の効率性  | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。                                  | ○ 特別展の印刷製本、物品購入、リーフレット作成、備品購入について、どの業務も正当な契約手続きを踏み、支出先の選定を行った。   | ○ 特別展の印刷製本、特別展資料の運搬、物品購入、リーフレット作成、施設整備委託について、どの業務も正当な契約手続きを踏み、支出先の選定を行った。   |          |
|   | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 無  | 無   |          |
|   | 競争性のない随意契約となったものはないか。                                     | 無  | 無   |          |
|   | 受益者との負担関係は妥当であるか。   | ○ 体験学習講座は、材料費の一部を参加者から徴収している。  | ○ 妥当。体験学習講座は、材料費の一部を参加者から徴収している。  |          |
|   | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。   | △ 今まで、特別展の実施や資料整理の人員費なども含めた総事業費を、ものづくり講座の参加者数だけで割るという計算式であったため、算出基準を改めた。参加者1人に対するコストが昨年度より高くなっているため、材料費を抑えつつ参加者数を増やせるよう尽力しなければならない。  | ○ 妥当。事業費の大きな変更がない中で、活動の充実が図られている。   |          |
|   | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。                            | ○ 国庫補助事業であり、内容の精査を行っている。   | ○ 国庫補助事業であり、内容の精査を行っている。  |          |
| 事業の有効性  | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)                              | -  | -   |          |
|   | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)                              | -  | -   |          |
|   | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。                               | ○ 体験セットを職員自らが作ったり、道具を壊れるまで使ったりするなど、コスト削減を目指して努力している。   | ○ 文化財課内の多くの職員が講座実施のノウハウを得ることにより、コスト削減につながっている。  |          |
|   | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。                                      | ○ 外部団体からの依頼が増え、十二分に見込みに見合ったものとなっている。   | ○ コロナ禍で参加人数を制限しているが、体験学習講座について、開催規模に十分見合った参加者数となっている。   |          |
|   | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。  | ○ 準備や運営方法など、これまでの実績により、最低限の時間と費用で実施できている。  | ○ 準備や運営方法など、これまでの実績により、最低限の時間と費用で実施できている。   |          |
| 関連事業  | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。                                  | ○ 十分目標に近づけることができている。   | ○ 十分目標に近づけることができている。  |          |
|   | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。                                  | ○ 購入した展示パネルやプロジェクターは講座で活用し、増設した収蔵展示棚やスポットライトも活用できている。  | ○ 委託業務の成果物は、市民対象の講座内で活用できている。   |          |
| 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) |   |  |   |          |
| 点検・改善結果   | 点検結果  | 古代体験や特別展、考古学講座に関する事業であり、新型コロナでの規制が緩和されたこともあり、特別展記念講演会や考古学講座では令和4年度を大幅に上回る参加者があった。古代体験も、外部団体からの体験依頼が増え、十分普及啓発につながっている。施設整備事業として購入した物品は十分活用できており、特に展示パネルは各講座の補足的情報を掲示するものとして大いに役立っている。 | 古代体験や特別展、考古学講座に関する事業であり、特に特別展では市制施行50周年に合わせた催しとして七夕ホールを会場にイベントも行い、多くの参加者が見られた(新型コロナウイルス感染拡大防止策として人数制限は設けたが、定員に近い参加があった)。施設整備事業として館内に通信機器を設置したため、今後はそれを活用した事業を行っていく。再整理事業に関しては、一部の公開でとまっている。 |          |
|   | 改善の方向性  | 外部団体からの体験依頼が数年で急激に増えており、職員の休日勤務や業務量が増加傾向にある。受け入れ基準を明確にし、他の業務へ支障が出ないようにしなければならない。   | 新型コロナウイルス感染症は5類となったが、イベント参加者や来館者には高齢の方も多いため、様子を見ながら徐々に人数制限を緩和していく。  |          |

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

|        |         |       |            |        |        |       |       |       |       |
|--------|---------|-------|------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-59    | 事務事業名 | 重要遺跡発掘調査業務 |        | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | J000932 | 開始年度  | 不明         | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4051 | 作成責任者 | 文化財課長 |

|                         |  |  |             |          |       |               |                   |                    |                 |                 |          |                   |            |            |
|-------------------------|--|--|-------------|----------|-------|---------------|-------------------|--------------------|-----------------|-----------------|----------|-------------------|------------|------------|
| 事業の目的                   | 指定史跡や未指定の重要な遺跡の内容確認調査を行い、公有化や指定を含めた今後の保存方針等を検討するとともに、調査成果は、一般に広く公開する。また、個人が住宅を建築する際に埋蔵文化財が確認された場合、補助事業として発掘調査を実施し、市民に負担が及ばないようにする。 |  |             |          |       |               |                   | 予算額・執行額<br>(単位:千円) | R04年度           |                 | R05年度    | R05年度の主な収入内訳(名称等) |            |            |
|                         | 事業概要   | 指定史跡及び今後指定が検討される史跡について、内容確認のための発掘調査を実施する。また、個人住宅の建築や零細事業者の開発等に係る発掘調査を行う。 |             |          |       |               |                   |                    | 予算内訳<br>(単位:千円) | 当初予算            | 5,204    |                   | 4,619      |            |
| 根拠法令、関係計画、通知等           |  | 文化財保護法第93・94条(埋蔵文化財発掘の通知・届出)、同99条(埋蔵文化財発掘調査の報告)                          |             |          |       |               |                   |                    |                 | 歳入予算            | 補正予算     |                   |            | ▲2,881     |
|                         | 活動目標及び活動実績1<br>(アウトプット)  | 活動指標   | 発掘調査・整理作業件数 | 単位       | R04年度 | R05年度         | R06年度<br>活動見込     | R07年度<br>活動見込      | 執行額             |                 | 前年度から繰越  |                   |            |            |
| 活動実績                    |  |  |             |          | 件     | 5             | 3                 |                    |                 |                 | 翌年度へ繰越   |                   |            |            |
| 活動目標及び活動実績2<br>(アウトプット) | 活動指標   | 発掘調査・整理作業件数  | 単位          | R04年度    | R05年度 | R06年度<br>活動見込 | R07年度<br>活動見込     | 執行率(%)             | 予備費等            |                 |          |                   |            |            |
|                         |  |  |             | 活動実績     | 件     | 5             | 5                 |                    |                 |                 | 計        |                   | 5,204      | 1,738      |
| 単位当たりコスト                | 算出根拠   |  |             | 単位       | R04年度 | R05年度         | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                    | 歳入予算            | R04年度           | R05年度    |                   | R05年度の主な使途 |            |
|                         | X:総費用(単位:円) / Y:調査件数(単位:件数)  |  |             | 単位当たりコスト | 円     | 1,037,600.0   |                   |                    | 578,000.0       | 国庫支出金           | 2,600    |                   |            | 695        |
| 成果目標及び成果実績1<br>(アウトカム)  | 成果目標   | 保存目的の確認調査件数を令和10年度に5件に増やす  | 単位          | R04年度    | R05年度 | 中間目標<br>R7 年度 | 目標最終年度<br>R10 年度  | 計                  | 歳出予算            | R04年度           | R05年度    |                   | R05年度の主な使途 |            |
|                         |  |  |             | 成果実績     | 件     | 1             | 1                 |                    | -               | -               | 報酬       | 2,413             |            | 1,119      |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 成果指標   | 保存目的の確認調査件数  | 単位          | R04年度    | R05年度 | 中間目標<br>R7 年度 | 目標最終年度<br>R10 年度  | 計                  | 共済費             | 217             | 186      | R05年度の主な使途        |            |            |
|                         |  |  |             | 目標値      | 件     | -             | -                 |                    | 3               | 5               | 賞金       |                   |            |            |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 補足説明   | 緊急発掘調査に追われているが、計画的に遺跡を将来に残すための確認調査に取り組む必要がある。                            |             |          |       |               |                   |                    | 投入工数<br>(単位:人)  | 需用費             | 1,122    | 43                | R05年度の主な使途 |            |
|                         |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  |             |          |       |               |                   |                    |                 | 役員費             | 6        |                   |            |            |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 成果目標   | 発掘調査・整理作業件数  | 単位          | R04年度    | R05年度 | 中間目標<br>R7 年度 | 目標最終年度<br>R10 年度  | 計                  | 委託料             | 754             |          | R05年度の主な使途        |            |            |
|                         |  |  |             | 成果実績     | 件     | 1             | 1                 |                    | -               | -               | 使用料及び賃借料 |                   | 627        | 372        |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 成果指標   | 発掘調査・整理作業件数  | 単位          | R04年度    | R05年度 | 中間目標<br>R7 年度 | 目標最終年度<br>R10 年度  | 計                  | 使用料及び賃借料        | 627             | 372      | R05年度の主な使途        |            |            |
|                         |  |  |             | 目標値      | 件     | -             | -                 |                    | 3               | 5               | 正職員      |                   | 0.4        | 0.4        |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 補足説明   | 緊急発掘調査に追われているが、計画的に遺跡を将来に残すための確認調査に取り組む必要がある。                            |             |          |       |               |                   |                    | 投入工数<br>(単位:人)  | 再任用             | 0.1      |                   | R05年度の主な使途 |            |
|                         |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  |             |          |       |               |                   |                    |                 | 会計年度月額          | 0.2      | 0.2               |            |            |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 補足説明   | 緊急発掘調査に追われているが、計画的に遺跡を将来に残すための確認調査に取り組む必要がある。                            |             |          |       |               |                   |                    | 投入工数<br>(単位:人)  | 会計年度日額          | 1        | 1                 | R05年度の主な使途 |            |
|                         |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  |             |          |       |               |                   |                    |                 | 計               | 1.70     | 1.60              |            |            |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 補足説明   | 緊急発掘調査に追われているが、計画的に遺跡を将来に残すための確認調査に取り組む必要がある。                            |             |          |       |               |                   |                    | 投入工数<br>(単位:人)  | 人件費合計(千円)       |          | 6,140             | 5,680      | R05年度の主な使途 |
|                         |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  |             |          |       |               |                   |                    |                 | 総費用(千円)         |          | 9,180             | 7,415      |            |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 補足説明   | 緊急発掘調査に追われているが、計画的に遺跡を将来に残すための確認調査に取り組む必要がある。                            |             |          |       |               |                   |                    | 投入工数<br>(単位:人)  | 人件費等の修正(千円)     |          | ▲2,200            |            | R05年度の主な使途 |
|                         |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  |             |          |       |               |                   |                    |                 | 総費用(千円)※人件費等修正後 |          | 6,980             | 7,415      |            |

|        |         |       |            |        |        |       |       |       |       |
|--------|---------|-------|------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-59    | 事務事業名 | 重要遺跡発掘調査業務 |        | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | J000932 | 開始年度  | 不明         | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4051 | 作成責任者 | 文化財課長 |

| 項目                           | 令和5年度 事務事業担当課による点検・改善                                     |  | <参考>令和4年度 事務事業担当課による点検・改善  |          |
|------------------------------|---|--|--|----------|
|                              | 評価  | 評価に関する説明   | 評価   | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性                       | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。                               | ○ 近年、市内委の宅地開発の増加により個人住宅建設も増加している。個人住宅の建設、建て替えに伴う発掘調査は費用が莫大で緊急性が高く個人に大きな負担となるためそれに対応するために事業として必要である。  | ○ 近年、市内の宅地造成の増加に伴い個人住宅の建築も増加している。個人住宅の建築や建て替えに伴う発掘調査は緊急性が高く、個人に大きな負担となるため、それに対応できる事業として必要である。  |          |
|                              | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。                                   | ○ 法定業務かつ専門的な知識が必要であるため地域にゆだねることは不可能である。また民間業者に委託すると費用と期間が現在より多くなるため現状の方法で実施するのが適切である。  | ○ 法定業務かつ専門的な知識が必要のため、地域に委ねることはできない。また民間業者に委託する場合、費用や期間が多くなるため、現状の方法で実施するのが最適である。   |          |
|                              | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。                  | ○ 当事業では、史跡の範囲確認調査を実施するため、その調査成果は今後の政策決定に大きな影響を及ぼす。   | ○ 当事業では、史跡の範囲確認調査を実施するため、その調査成果は今後の政策決定に大きな影響を及ぼす。   |          |
| 事業の効率性                       | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。                                  | ○ 発掘調査で使用される機材(重機、ユニットハウス)や、専門性の高い業務委託(空中写真撮影)は、毎年入札によって業者を選定している。   | ○ 発掘調査で使用される機材(重機、ユニットハウス)や、専門性の高い業務委託(空中写真撮影)は、毎年入札によって業者を選定している。   |          |
|                              | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 無  | 無  |          |
|                              | 競争性のない随意契約となったものはないか。                                     | 無  | 無  |          |
|                              | 受益者との負担関係は妥当であるか。   | ○ 営利目的ではない個人住宅の建築に伴う発掘調査については、事業主に費用負担は求めている。  | ○ 営利目的ではない個人住宅の建築に伴う発掘調査については、事業主に費用負担は求めている。  |          |
|                              | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。   | ○ 必要経費を積算し予算を算出しているため、必要最低限のコストで押さえている。  | ○ 必要経費を積算し予算を算出しているため、必要最低限のコストで押さえている。  |          |
|                              | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。                            | ○ 国庫補助事業であり、内容は精査している。また、県や国の精査を経て承認を受けている。  | ○ 国庫補助事業であり、内容は精査している。また、県や国の精査を経て承認を受けている。  |          |
|                              | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)                              | -  | -  |          |
| 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | -   | -  |  |          |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。  | ○ 調査前に地権者・工事関係者と十分協議を行いコスト削減、効率化を進めている。                   | ○ 調査前に地権者、工事関係者と十分に協議し、コスト削減と効率化を進めている。  |  |          |
| 事業の有効性                       | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。                                      | ○ 個人住宅建築に伴う発掘調査の件数は相手方の都合もあるため、見込みの設定が難しい  | ○ 個人住宅建築に伴う発掘調査の件数は相手方の都合もあるため、見込みの設定が難しい  |          |
|                              | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。  | ○ 民間委託を行う場合よりも期間が短くコストも必要最低限に抑えることができている。  | ○ 民間業務委託より必要期間が短く、経費も必要最低限に抑えることができている。  |          |
|                              | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。                                  | ○ 民間開発事業に伴う発掘調査との兼ね合いもあるが、遺跡保存のため、確認調査を実施する必要がある   | ○ 民間開発事業に伴う発掘調査との兼ね合いもあるが、遺跡保存のため、確認調査を実施する必要がある   |          |
|                              | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。                                  | ○ 確認調査で得られた成果は、今後の史跡整備等に反映させる。   | ○ 確認調査で得られた成果は、今後の史跡整備等に反映させる。   |          |
| 関連事業                         | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)         |  |  |          |
|                              | 課名  |  |  |          |
|                              | 連番  |  |  |          |
| 点検・改善結果                      | 点検結果  | 市内の埋蔵文化財包蔵地の整理が進むにつれ、個人住宅など小規模発掘調査だけでなく、最近では民間の中規模・大規模調査も増加している。現在は民間事業を優先して進めている。重要な遺跡の確認調査計画もあるが、調査案件の増加に対して職員の数が不足しており、計画通り実施できていないのが現状である。 | 市内の埋蔵文化財包蔵地の整理が進むにつれ、個人住宅など小規模な発掘調査だけでなく、現状では、民間の中規模・大規模調査も増加しており、民間事業を優先して進めている。重要な遺跡の確認調査の計画を持っているが、調査案件の増加に対し組織の人員が不足しており、計画通り実施できていない。 |          |
|                              | 改善の方向性  | 重要な遺跡の確認調査は、国や県と協議し、年次計画を基に確実に実施する必要がある。組織としても民間の緊急発掘を中・長期的に把握し、重要遺跡の確認調査を併行して実行できる計画や人員の確保が必要である。   | 重要な遺跡の確認調査については、国や県と協議を進め、年次計画に沿って確実に実施する必要がある。組織としても、民間の緊急調査の動向を中期的に把握し、重要遺跡の確認調査を併行して実現できる計画の見直しや人員の確保が必要である。                            |          |

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

|        |         |       |           |        |        |       |       |       |       |
|--------|---------|-------|-----------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-60    | 事務事業名 | 文化財普及啓発業務 |        | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | J000928 | 開始年度  | 昭和55年度    | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4052 | 作成責任者 | 文化財課長 |

|                         |  |   |                  |       |       |               |               |                    |                 |         |        |                   |       |            |
|-------------------------|--|---|------------------|-------|-------|---------------|---------------|--------------------|-----------------|---------|--------|-------------------|-------|------------|
| 事業の目的                   | 市内小・中学生や社会教育団体などを中心とした市民に対し、資料の提供や講師派遣、イベントの開催等を行い、郷土の歴史文化の素晴らしさを広く周知し、郷土愛を醸成する。 |   |                  |       |       |               |               | 予算額・執行額<br>(単位:千円) | 当初予算            | R04年度   | R05年度  | R05年度の主な収入内訳(名称等) |       |            |
|                         | 事業概要   | 学校教育・社会教育における郷土史分野の学習支援を行うと同時に、小郡市が持つ歴史的・文化的情報を市内外へ発信する。そのため、市内遺跡から出土した考古資料及び市内所在の歴史資料と、それらに関する情報の整理・収蔵・管理・提供を実施する。 |                  |       |       |               |               |                    | 補正予算            |         |        |                   |       |            |
| 根拠法令、関係計画、通知等           |  | 小郡市文化財保護条例第1条   |                  |       |       |               |               |                    | 予算内訳<br>(単位:千円) | 前年度から繰越 |        |                   |       | R05年度の主な使途 |
|                         | 活動目標及び活動実績1<br>(アウトプット)  | 活動指標  | 小郡ジュニア歴史博士への応募者数 | 単位    | R04年度 | R05年度         | R06年度<br>活動見込 | R07年度<br>活動見込      |                 | 翌年度へ繰越  |        |                   |       |            |
| 活動実績                    |  |   |                  |       | 件     | 450           | 495           |                    |                 | 予備費等    |        |                   |       |            |
| 活動目標及び活動実績2<br>(アウトプット) | 活動指標   | 小郡ふるさと歴史検定の受検者数   | 単位               | R04年度 | R05年度 | R06年度<br>活動見込 | R07年度<br>活動見込 | 計                  | 3,698           | 5,266   |        |                   |       |            |
|                         |  |   |                  | 活動実績  | 人     | 46            | 53            |                    |                 | 執行額     | 3,507  |                   | 4,800 |            |
| 単位当たりコスト                | 算出根拠   |   |                  | 単位    | R04年度 | R05年度         |               |                    | 執行率(%)          |         |        |                   |       |            |
|                         | X:総費用(単位:円) / Y:小郡ジュニア歴史博士への応募数(単位:件数)   |   |                  |       | 円     | 8,385.5       | 9,776.0       |                    |                 | 95%     |        |                   | 91%   |            |
| 成果目標及び成果実績1<br>(アウトカム)  | 成果目標   | 令和10年度までに全ての市内小・中学校から小郡ジュニア歴史博士に応募してもらう   |                  |       |       |               | 中間目標<br>R7 年度 | 目標最終年度<br>R10 年度   | 歳入予算            |         | R04年度  |                   | R05年度 |            |
|                         | 成果指標   | 小郡ジュニア歴史博士に応募のあった小・中学校数   |                  |       |       |               | 校             | 10                 | 9               | -       | -      | R05年度の主な収入内訳(名称等) |       |            |
|                         | 補足説明   | (計算式)小郡ジュニア歴史博士に応募のあった小・中学校数 / 市内全ての小・中学校数  |                  |       |       |               |               |                    | 校               | 13      | 13     | 13                | 13    |            |
|                         | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  |   |                  |       |       |               |               |                    | %               | 77      | 69     | -                 | -     |            |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 成果目標   |   |                  |       |       |               | 単位            | R04年度              | R05年度           | 歳出予算    |        | R04年度             | R05年度 |            |
|                         | 成果指標   |   |                  |       |       |               | 成果実績          |                    |                 |         |        | R05年度の主な使途        |       |            |
|                         | 補足説明   |   |                  |       |       |               |               |                    | 目標値             |         |        |                   |       |            |
|                         | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  |   |                  |       |       |               |               |                    | 達成度             | %       |        |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 投入工数<br>(単位:人)     | 計               | 1.80    | 2.10   |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 正職員                |                 | 0.4     | 0.3    |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 再任用                |                 |         |        |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 会計年度月額             |                 | 0.8     | 0.8    |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 会計年度日額             |                 | 0.6     | 1      |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 計                  |                 | 1.80    | 2.10   |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 人件費合計(千円)          |                 | 6,520   | 6,810  |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 総費用(千円)            |                 | 10,027  | 11,610 |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 人件費等の修正(千円)        |                 | ▲ 1,320 |        |                   |       |            |
|                         |  |   |                  |       |       |               |               | 総費用(千円)※人件費等修正後    |                 | 8,707   | 11,610 |                   |       |            |

|        |         |       |           |        |        |        |       |
|--------|---------|-------|-----------|--------|--------|--------|-------|
| シートNo. | 教-60    | 事務事業名 | 文化財普及啓発業務 | 部・課・係  | 教育部    | 文化財課   | 文化財係  |
| 事業No.  | J000928 | 開始年度  | 昭和55年度    | 終了予定年度 | 終了予定なし | 作成責任者  | 文化財課長 |
|        |         |       |           |        |        | 2/2ページ |       |

| 項目      | 令和5年度 事務事業担当課による点検・改善                                     |  | <参考>令和4年度 事務事業担当課による点検・改善  |          |
|---------|---|--|--|----------|
|         | 評価  | 評価に関する説明   | 評価   | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性  | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。                               | ○ 教育現場からの要望は非常に多いため、ニーズを的確に反映していると言える。   | ○ 教育現場からの出前講師等の要望が非常に多く、ニーズに合致した事業と言える。  |          |
|         | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。                                   | ○ 専門性の高い事業であり、正確さも求められるため、行政が担わなければならない。   | ○ 専門的な内容を的確に伝える必要があり、行政が担うべき事業である。   |          |
|         | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。                  | ○ ふるさとを知り、郷土愛を育むためにも必要かつ適切な事業である。学校現場の郷土教育にも密接に関わるものであるため、優先度の高い事業と言える。  | ○ 学校現場の郷土教育とも密接に係わる優先度の高い事業である。  |          |
| 事業の効率性  | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。                                  | ○ 一者随意契約となったものは、導入済みのシステムの開発者による、収蔵資料管理システム保守管理業務である。これは開発者にしか履行できない内容であるため、選定は妥当であると言える。  | ○ 一者随意契約となったものは、すでに導入している資料管理システムの開発者による保守管理である。   |          |
|         | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 有  | 有  |          |
|         | 競争性のない随意契約となったものはないか。                                     | 無  | 無  |          |
|         | 受益者との負担関係は妥当であるか。   | ○ 周辺施設の事例と比較しても、非常に少ない経費で、受益者に大きな効果を生み出している。   | ○ 少ない経費で、受益者に大きな効果を生み出している。  |          |
|         | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。   | ○ 職員の人的活動(手作りの体験セットや手作りの資料など)が多くを占めているため、コスト水準は非常に低い。  | ○ 職員の人的活動が多くを占めており、コスト水準は非常に低い。  |          |
|         | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。                            | ○ 日常管理費も含め、内容を精査して支出している。  | ○ 日常管理費も含め、内容を精査して支出している。  |          |
|         | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)                              |  |  |          |
| 事業の有効性  | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)                              |  |  |          |
|         | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。                               | ○ 少ないコストで最大の教育効果が挙げられるよう学校と協議して進めている。  | ○ 主に学校現場と協議しながら、コスト削減に取り組んでいる。   |          |
|         | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。                                      | ○ これまでの活動が浸透しているため、見込みに見合う実績がある。   | ○ これまでの活動が浸透しており、見込みに見合った実績がある。  |          |
|         | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。  |  |  |          |
| 関連事業    | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。                                  | ○ 継続した活動により、成果目標の数値へ徐々に近づいている。   | ○ 継続した活動により、徐々に目標に近づいている。  |          |
|         | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。                                  | ○ 塔事業の成果品である「ふるさと小郡のあゆみ」は、当初の対象者をこえて小学3年生から活用している。   | ○ 当事業の成果品である「ふるさと小郡のあゆみ」は、学校現場での活用をこちらからも働きかけを行い、拡大している。   |          |
|         | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)         |  |  |          |
| 点検・改善結果 | 点検結果  | 定期的を実施している「ふるさと小郡のあゆみ普及活用推進委員会」で、教育現場の実状を確認しながら事業を進めている。小学校のセンター見学、小・中学校への出前授業、地域のフィールドワークなど、市内小中学生の地域学習に対し大いに寄与していると考えられる。市内文化財普及啓発活動の柱として、今後も継続して推進していく。 | 「ふるさと小郡のあゆみ普及活用推進委員会」で教育現場の実情を確認しながら事業を進めている。子どもの頃から郷土の歴史に触れ、郷土愛を醸成するため、組織的に小学校のセンター見学、小・中学校への出前講師などに取り組んでいる。市内文化財普及啓発活動の柱として、今後も継続して推進していく。 |          |
|         | 改善の方向性  | 小中学校におけるICT教育推進の一助となるべく、小郡ジュニア歴史博士のデジタル作品(パソコンやタブレットで作成したもの)の応募がしやすいよう募集方法を改良する。センター見学や出前授業等の回数も多く、他の業務に影響が出つつあるため、組織の拡充、適切な業務量の検討を行わなければならない。             | 小郡ふるさと歴史検定の受検者数が伸び悩んでいる。周知の方法や開催内容、開催場所、特典などを検討し、より多くの市民に受検してもらえよう取り組む。センター見学や出前授業の回数も多く、組織の拡充、適切な業務量の検討を行わなければならない。                         |          |

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

|        |         |       |              |        |       |       |       |       |       |
|--------|---------|-------|--------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-61    | 事務事業名 | 地域おこし協力隊活動業務 |        | 部・課・係 | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | R020106 | 開始年度  | 令和2年度        | 終了予定年度 | 令和5年度 | 施策コード | P4054 | 作成責任者 | 文化財課長 |

|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    |                 |       |       |                   |       |                   |        |
|-------------------------------|---|---|--------------|--------|--------|-------|-------|--------------------|-----------------|-------|-------|-------------------|-------|-------------------|--------|
| 事業の目的                         | 地域おこし協力隊(古建築活用プランナー)1名を雇用し、平田家住宅や旅館油屋を中心とした市内の古建築を様々な方法で活用することを通して、市内外の人に小都市の歴史文化の豊かさを周知する。 |   |              |        |        |       |       | 予算額・執行額<br>(単位:千円) | 当初予算            | R04年度 | R05年度 | R05年度の主な収入内訳(名称等) |       |                   |        |
|                               | 事業概要  | 雇用した地域おこし協力隊が中心となり、市内古建築周知のためのパンフレット作成やイベントの開催、市民とともに古建築の修復作業などを行う。 |              |        |        |       |       |                    | 補正予算            |       |       |                   |       |                   |        |
| 根拠法令、関係計画、通知等                 |   | 小都市文化財保護条例第1条<br>小都市歴史文化基本構想  |              |        |        |       |       |                    | 前年度から繰越         |       |       |                   | 執行額   | 1,577             | 1,211  |
|                               | 活動目標及び活動実績1(アウトプット)   | 活動指標  | イベントの開催・参加回数 | 活動実績   | 回      | R04年度 | R05年度 | R06年度<br>活動見込      | R07年度<br>活動見込   | 計     | 1,600 |                   |       | 1,590             | 執行率(%) |
| 活動目標及び活動実績2(アウトプット)           |   | 活動指標  |              | 活動実績   |        | R04年度 | R05年度 | R06年度<br>活動見込      | R07年度<br>活動見込   | 歳入予算  | R04年度 |                   | R05年度 | R05年度の主な収入内訳(名称等) |        |
|                               | 単位当たりコスト  | 算出根拠  |              | 単位     | R04年度  | R05年度 |       |                    | 国庫支出金           |       |       |                   |       |                   |        |
| X:総費用(単位:円) / Y:イベントの参加者数(人数) |   | 単位当たりコスト  | 円            | 29,203 | 25,765 |       |       | 県支出金               |                 |       |       |                   |       |                   |        |
| 成果目標及び成果実績1(アウトカム)            | 成果目標  | 令和5年度までにイベント参加者数を100人にする  | 成果実績         | 人      | 54     | 47    | -     | -                  | 使用料・手数料         |       |       |                   |       |                   |        |
|                               | 成果指標  | イベント参加者数  | 目標値          | 人      | 33     | 33    | -     | 33                 | 分担金・負担金等        |       |       |                   |       |                   |        |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム)            | 補足説明  |   |              |        |        |       |       |                    | 財産収入            |       |       |                   |       |                   |        |
|                               | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |   |              |        |        |       |       |                    | 繰入金             |       |       |                   |       |                   |        |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム)            | 成果目標  |   | 成果実績         |        |        |       |       | 諸収入                |                 |       |       |                   |       |                   |        |
|                               | 成果指標  |   | 目標値          |        |        |       |       | 繰越金                |                 |       |       |                   |       |                   |        |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム)            | 補足説明  |   |              |        |        |       |       |                    | 地方債             |       |       |                   |       |                   |        |
|                               | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |   |              |        |        |       |       |                    | 一般財源            | 1,600 | 1,590 |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 計               | 1,600 | 1,590 |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 歳出予算            | R04年度 | R05年度 | R05年度の主な使途        |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 報償費             | 0     | 86    | 謝金                |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 旅費              | 83    | 23    | 研修等旅費             |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 需用費             | 264   | 63    | 燃料費               |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 役務費             | 75    | 95    | 通信運搬費             |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 委託料             | 200   | 0     |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 使用料及び賃借料        | 943   | 934   |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 負担金             | 35    | 10    | 研修等               |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 不用額             | 0     | 379   |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 計               | 1,600 | 1,590 |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 正職員             | 0.1   | 0.1   |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 再任用             | 0     |       |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 会計年度月額          | 1     | 1     |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 会計年度日額          | 0     |       |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 計               | 1.10  | 1.10  |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 人件費合計(千円)       | 3,670 | 3,670 |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 総費用(千円)         | 5,247 | 4,881 |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 人件費等の修正(千円)     |       |       |                   |       |                   |        |
|                               |   |   |              |        |        |       |       |                    | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 5,247 | 4,881 |                   |       |                   |        |

|        |         |       |              |        |       |       |        |
|--------|---------|-------|--------------|--------|-------|-------|--------|
| シートNo. | 教-61    | 事務事業名 | 地域おこし協力隊活動業務 | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係   |
| 事業No.  | R020106 | 開始年度  | 令和2年度        | 終了予定年度 | 令和5年度 | 施策コード | P4054  |
|        |         |       |              |        |       | 作成責任者 | 文化財課長  |
|        |         |       |              |        |       |       | 2/2ページ |

| 項目                          | 令和5年度 事務事業担当課による点検・改善   |  | ＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善   |   |   |
|-----------------------------|---|--|---|---|---|
|                             | 評価  | 評価に関する説明   | 評価  | 評価に関する説明  |   |
| 事業の必要性                      | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。   | ○ イベントを通して、市内古建築の地域のまちづくり拠点としてあり方を示し、今後は日本を訪れる外国人を対象に、インバウンドを見据えた活動・活用につながる下地づくりを行なった。   | ○   | 旧松崎旅籠油屋に、子どもから高齢者までが集まって、同じイベントに参加するという、地域のまちづくりの拠点としてのあり方を示したイベントが実施できた。   |   |
|                             | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。   | ○ 古建築とその置かれた環境を俯瞰的に見ること、地域おこし協力隊という専門的な立場から事業を実施することができ、地域、そして地方へと還元できる活動は、他に委ねることはできない。   | ○   | 古建築とその置かれた環境を俯瞰的に見ること、地域おこし協力隊という専門的な立場から事業を実施することができ、地域、そして地方へと還元できる活動は、他に委ねることはできない。  |   |
|                             | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。  | ○ 政策目的のための一つのプランとして検討すべきものである。古建築の活用と地域おこしという、文化財を地域の宝として理解促進を図るためのもので、観光まちづくりの分野の推進に適切な事業である。   | △   | 政策目的のための一つのプランとして検討すべきものである。古建築の活用と地域おこしという、文化財を地域の宝として理解促進を図るためのもので、観光まちづくりの分野の推進に適切な事業である。  |   |
| 事業の効率性                      | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。<br>一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | -  | 令和5年度は契約を伴う事業は行わず、令和4年度の成果品を活用するイベントを中心に実施した。                         | ○   | 九州産業大学学生と協力して実施した紙芝居製作事業は、令和3年度からの継続事業であり、他者の参入が難しいため、一者随契約で実施した。                   |
|                             | 競争性のない随意契約となったものはないか。   |  |   | 有   |   |
|                             | 受益者との負担関係は妥当であるか。   | -  | 市内古建築の活用のあり方を示す活動を中心としたため、その成果は今後の取り組みの中で表れる。現時点では受益者との負担関係は明らかにできない。 | -   | 現時点では、古建築の活用としては、小郡市内での活動に限定されている。今後、広域に活動範囲を広げること、その成果が表れるため、現時点での受益者との負担関係は不明である。 |
|                             | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。   | ○  | 令和4年度成果品を有効に活用することで、単位当たりのコストを下げている。                                  | -   | 現時点では、活動が限定的であるため、単位当たりのコストはわからない。  |
|                             | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。  | ○  | 内容を精査し、必要経費のみを計上している。   | ○   | 内容を精査し、必要経費のみを計上している。   |
|                             | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）  | ○  | 複数の活用イベントの企画が存在していたが、他団体との調整がうまくいかず、イベントが中止または開催できなかったため。             | -   |   |
|                             | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）  | -  |   | -   |   |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○   | 人脈を広げ、協力者を集めること、活動内容を成果品の活用に限定することで、コスト削減・効率化を図っている。   | △   | 協力者を集めること、活動内容を限定することで、コスト削減・効率化を図っている。   |   |
| 事業の有効性                      | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。  | ○  | 市内だけでなく、市外、県外、国外に向けても情報発信を行い、小郡市内の古建築の魅力を伝えることができた。                   | △   | 紙芝居の制作により、普及・啓発のための材料ができたため、今後の活用とその成果によって評価される。                                    |
|                             | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。                              | ○  | デジタル化などによりより低コストで制作も可能であるが、人とのつながりやふれあいといったまちづくりのための活動として、最適な手段であった。  | ○   | デジタル化などによりより低コストで制作も可能であるが、人とのつながりやふれあいといったまちづくりのための活動として、最適な手段であった。                |
|                             | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。  | ○  | 当初の想定を上回る参加者を集めており、古建築のみならず、市内文化財への興味、関心を持っていただく大きな成果となった。            | ○   | 着実に活動実績を増やしており、古建築の活用へとつながっている。   |
|                             | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。  | ○  | 古建築および成果品である紙芝居を活用したイベントを実施した。  | ○   | 古建築および紙芝居を活用したイベントを実施し、今後も計画中である。   |
| 関連事業                        | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）                                     | -  |   | -   |   |
|                             | 課名<br>連番<br>事業名   |  |   |   |   |
| 点検・改善結果                     | 点検結果  | 新型コロナウイルスの影響により、初年度の活動が限定的であった。実施した活動の中心は、古建築を活用するための広報材料として紙芝居の制作及び旧松崎旅籠油屋でのイベントの開催である。また、地域おこし協力隊員により広がった人脈を活かし、市内古建築の周知、イベントの開催、新しい活用方法の検討など、更なる事業展開につなげていっていきつなげられた。 |   | 新型コロナウイルスの影響により、活動は限定的であった。活動の中心は、古建築を活用するための広報材料として紙芝居の制作及び旧松崎旅籠油屋でのイベント開催である。古建築を活用したイベントが開催できたことで、今後はイベント数の増加、市内古建築の周知など、更なる事業展開が望まれる。 |   |
|                             | 改善の方向性  |  |   | これまでの活動で培ってきた地域とのつながりを足掛かりとして、イベントやワークショップの開催を行い、これらの事業成果を地域へと還元する取り組みを進める。   |   |



# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

|        |         |       |                              |        |        |       |       |       |       |
|--------|---------|-------|------------------------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-62    | 事務事業名 | 小郡官衙遺跡群史跡公有化事業(小郡官衙遺跡・上岩田遺跡) |        | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | J001120 | 開始年度  | 昭和47年度                       | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4053 | 作成責任者 | 文化財課長 |

|                     |   |   |               |       |            |               |                  |                    |                   |                   |                   |                   |                   |
|---------------------|---|---|---------------|-------|------------|---------------|------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 事業の目的               | 国指定史跡小郡官衙遺跡群 小郡官衙遺跡 上岩田遺跡について、平成22年度に策定した保存管理計画と平成23年度に策定した整備基本計画に則り、指定地の公有化を進め、確実な保存を図る。また、併せて未指定地のうち史跡指定対象範囲の追加指定を行う。なお、指定地は、将来的に史跡公園として整備する。 |   |               |       |            |               |                  | 予算額・執行額<br>(単位:千円) | R04年度             |                   | R05年度             | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |
|                     | 事業概要  | 国史跡指定地のうち未公有化範囲について、国庫補助事業によって公有化を行う。また、未指定地のうち史跡指定対象範囲について、地権者と協議を進め、計画的に史跡の追加指定と公有化を実施する。 |               |       |            |               |                  |                    | 当初予算              | 60                | 56,751            |                   |                   |
| 根拠法令、関係計画、通知等       |   | 文化財保護法第109条(指定)、同第129条(買収)<br>小郡官衙遺跡群小郡官衙遺跡上岩田遺跡保存管理計画                                      |               |       |            |               |                  |                    | 補正予算              |                   | 11,097            |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |
|                     | 活動目標及び活動実績1(アウトプット)   | 活動指標  | 小郡官衙遺跡の史跡指定面積 | 活動実績  | ㎡          | 40,277        | 40,277           | R06年度<br>活動見込      |                   |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |
| 当初見込                |   |   |               | ㎡     | 40,277     | 40,277        | R07年度<br>活動見込    |                    |                   |                   |                   |                   |                   |
| 活動目標及び活動実績2(アウトプット) | 活動指標  |   | 活動実績          |       |            |               | R06年度<br>活動見込    |                    |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |                   |
|                     |   |   | 当初見込          |       |            |               | R07年度<br>活動見込    |                    |                   |                   |                   |                   |                   |
| 単位当たりコスト            | 算出根拠  |   | 単位            | R04年度 | R05年度      | R06年度<br>活動見込 |                  | R07年度<br>活動見込      |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |                   |
|                     | X:総費用(単位:円) / Y:公有化面積(単位:㎡)   |   | 単位当たりコスト      | 円     | -          |               |                  |                    |                   |                   |                   |                   |                   |
| 成果目標及び成果実績1(アウトカム)  | 成果目標  | 小郡官衙遺跡史跡指定予定範囲の公有化率<br>令和10年まで90%   | 単位            | R04年度 | R05年度      | 中間目標<br>年度    | 目標最終年度<br>R10 年度 | R05年度の主な収入内訳(名称等)  |                   |                   |                   |                   |                   |
|                     | 成果指標  | 史跡指定範囲の公有化率   | 成果実績          | %     | 88         | 88            | -                | -                  | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |                   |                   |
| 成果目標及び成果実績2(アウトカム)  | 成果指標  | 史跡指定範囲の公有化率   | 目標値           | %     | -          | -             | 90               | R05年度の主な収入内訳(名称等)  |                   |                   |                   |                   |                   |
|                     | 補足説明  | (計算式)小郡官衙遺跡の公有化面積 / 小郡官衙遺跡の最終的な公有化対象範囲面積  | 達成度           | %     | 98         | 98            | -                |                    | -                 |                   |                   |                   |                   |
| 根拠として用いた統計・データ名(出典) |   |   |               |       |            |               |                  |                    | 投入工数(単位:人)        |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |
| 成果目標                | 成果実績  | 単位  | R04年度         | R05年度 | 中間目標<br>年度 | 目標最終年度<br>年度  | 正職員              |                    | 0.5               | 0.5               |                   |                   |                   |
| 成果指標                | 目標値   |   |               |       |            |               | 再任用              |                    |                   |                   |                   |                   |                   |
| 補足説明                | 達成度   | %   |               |       |            |               | 会計年度月額           |                    |                   |                   |                   |                   |                   |
| 根拠として用いた統計・データ名(出典) |   |   |               |       |            |               |                  |                    | 会計年度日額            |                   |                   | 0.2               | 0.2               |
|                     |   |   |               |       |            |               |                  |                    | 計                 |                   |                   | 0.70              | 0.70              |
|                     |   |   |               |       |            |               |                  |                    | 人件費合計(千円)         |                   |                   | 3,830             | 3,830             |
|                     |   |   |               |       |            |               |                  |                    | 総費用(千円)           |                   |                   | 3,830             | 71,678            |
|                     |   |   |               |       |            |               |                  |                    | 人件費等の修正(千円)       |                   |                   |                   |                   |
|                     |   |   |               |       |            |               |                  |                    | 総費用(千円)※人件費等修正後   |                   |                   | 3,830             | 71,678            |

|        |         |       |                              |        |        |       |       |
|--------|---------|-------|------------------------------|--------|--------|-------|-------|
| シートNo. | 教-62    | 事務事業名 | 小郡官衙遺跡群史跡公有化事業(小郡官衙遺跡・上岩田遺跡) | 部・課・係  | 教育部    | 文化財課  | 文化財係  |
| 事業No.  | J001120 | 開始年度  | 昭和47年度                       | 終了予定年度 | 終了予定なし | 作成責任者 | 文化財課長 |

| 項目      | 令和5年度 事務事業担当課による点検・改善                                     |  | ＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善   |          |
|---------|---|--|---|----------|
|         | 評価  | 評価に関する説明   | 評価  | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性  | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。                               | ○ 小郡市では文化財保存活用地域計画を令和5から7年度で策定中である。現在の社会では、地域の歴史文化を活かしたまちづくりが求められており、その柱の一つとなる事業である。                                     | ○ 小郡市では文化財保存活用地域計画を令和5・6年度で策定予定である。現在の社会では、地域の歴史文化を活かしたまちづくりが求められており、その柱の一つとなる事業である。      |          |
|         | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。                                   | ○ 史跡の公有化であり、地域や民間では実施できない。   | ○ 史跡の公有化であり、地域や民間では実施できない。  |          |
|         | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。                  | ○ 小郡官衙遺跡群の保存・活用は、市として優先度の高い事業である。  | ○ 小郡官衙遺跡群の保存・活用は、市として優先度の高い事業である。   |          |
| 事業の効率性  | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。                                  | -  | -   |          |
|         | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 無  | 無   |          |
|         | 競争性のない随意契約となったものはないか。                                     | 無  | 無   |          |
|         | 受益者との負担関係は妥当であるか。   | -  | -   |          |
|         | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。   | -  | -   |          |
|         | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。                            | -  | -   |          |
|         | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。                               | ○ 事業を効率的・計画的に進めるため、着手の数年前より地権者との継続して協議している。  | ○ 事業を効率的・計画的に進めるため、着手の数年前より地権者との協議を実施している。  |          |
| 事業の有効性  | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。                                      | ○ 小郡官衙遺跡群 小郡官衙遺跡・上岩田遺跡 保存管理計画書を基に長期的視野で事業を進めており、概ね見込み通りの実績となっている。  | ○ 小郡官衙遺跡群 小郡官衙遺跡・上岩田遺跡 保存管理計画書を基に長期的視野で事業を進めており、概ね見込み通りの実績となっている。                         |          |
|         | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。  | -  | -   |          |
|         | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。                                  | △ 地権者の意向に沿って行う事業であり、見通しを立てることが難しい。   | △ 地権者の意向に沿う事業なので、見通しを立てることが難しい。   |          |
|         | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。                                  | ○ 計画に則って公有化を進めており、将来的に公園整備を行う。   | ○ 計画に則って公有化を進めており、将来的に公園整備を行う。  |          |
| 関連事業    | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)         |  |   |          |
|         | 課名  |  |   |          |
|         | 連番  |  |   |          |
| 点検・改善結果 | 点検結果  | 令和4年度に行った国指定史跡追加指定地のうち、令和5年度は小郡官衙遺跡分1筆の公有化を行った。残る4筆の指定地についても順次公有化を進める。   | 令和4年度は小郡官衙遺跡と上岩田遺跡(計5筆)の国指定史跡への追加指定を行った。令和5年度以降公有化を進める予定である。                              |          |
|         | 改善の方向性  | 近年、周辺住民から土地公有化・史跡整備に関する問い合わせや要望が多くなっており、令和6年度にも小郡官衙遺跡(1筆)の追加指定を申請予定である。周辺住民への事業内容の周知を図るとともに、早期の公有化要望に応えられるように円滑な事業運営を図る。 | 近年、周辺住民から土地公有化・史跡整備に関する問い合わせや要望が多くなっている。周辺住民への事業内容の周知を図るとともに、早期の公有化要望に応えられるように円滑な事業運営を図る。 |          |

事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

|        |      |       |                    |        |       |       |       |       |       |
|--------|------|-------|--------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-63 | 事務事業名 | 小郡市文化財保存活用地域計画策定業務 |        | 部・課・係 | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | 新規   | 開始年度  | 令和5年度              | 終了予定年度 | 令和7年度 | 施策コード | P4054 | 作成責任者 | 文化財課長 |

|                      |  |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 |                                       |                                       |                                       |
|----------------------|--|---|---------------|----------|---------------|---------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------|-----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 事業の目的                | 地域ぐるみの文化財保護の活動を推進し、まちづくり・地域づくりや観光資源として幅広い活用を進めるため、「小郡市文化財保存活用地域計画」を策定する。 |   |               |          |               |               |                                       |                                       | 予算額・執行額<br>(単位:千円) | R04年度           |                                       | R05年度                                 | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      | 事業概要   | 令和元年度に作成した「小郡市歴史文化基本構想」のアクションプランとして「小郡市文化財保存活用地域計画」を策定する。計画の内容は第6次小郡市総合振興計画や第2次教育振興基本計画、福岡県文化財保存活用大綱に基づいたものとする。策定作業は、文化財・マーケティング・観光等の専門家と地域・市民代表からなる協議会で内容を検討して進める。計画は令和5～6年度に作成し、令和7年度に文化庁へ認定申請、認定後は計画に基づいた文化財保存活用事業を展開する。 |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 予算内訳<br>(単位:千円) | 当初予算                                  |                                       |                                       |
| 根拠法令、関係計画、通知等        |  | 文化財保護法第183条の3<br>福岡県文化財保存活用大綱<br>小郡市歴史文化基本構想  |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 補正予算                                  |                                       |                                       |
|                      | 活動目標及び活動実績1 (アウトプット)   | 活動目標  | 地域計画策定協議会開催回数 | 単位       | R04年度         | R05年度         | R06年度<br>活動見込                         | R07年度<br>活動見込                         | 前年度から繰越            |                 |                                       |                                       |                                       |
| 活動実績                 |  |   |               |          | 回             |               | 3                                     |                                       |                    | 翌年度へ繰越          |                                       |                                       |                                       |
| 活動目標及び活動実績2 (アウトプット) | 活動目標   | 単位  | R04年度         | R05年度    | R06年度<br>活動見込 | R07年度<br>活動見込 | 予備費等                                  |                                       |                    |                 |                                       | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |                                       |
|                      |  |   | 活動実績          |          |               |               |                                       | 計                                     | 0                  | 1,502           |                                       |                                       |                                       |
| 単位当たりコスト             | 算出根拠   |   |               | 単位       | R04年度         | R05年度         | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |                                       |                    |                 |                                       |                                       |                                       |
|                      | X:総費用(単位:円)<br>Y:地域計画策定協議会開催回数(単位:回)                                     |   |               | 単位当たりコスト | 円             |               | 500,471                               | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |                    |                 |                                       |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績1 (アウトカム)  | 成果目標   | 文化財保存活用地域計画の完成比率<br>令和7年度までに100%  | 単位            | R04年度    | R05年度         | 中間目標<br>年度    | 目標最終年度<br>R7年度                        | 執行額                                   |                    | 1,502           | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |                                       |                                       |
|                      |  |   |               | 成果実績     | %             |               | 80                                    |                                       |                    | 執行率(%)          |                                       | 100%                                  |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 成果目標   | 文化財保存活用地域計画の完成比率  | 単位            | R04年度    | R05年度         | 中間目標<br>年度    | 目標最終年度<br>R7年度                        | 歳入予算                                  | R04年度              | R05年度           | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |                                       |                                       |
|                      |  |   |               | 目標値      | %             |               | 60                                    |                                       |                    | 歳入予算            |                                       |                                       | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 成果目標   | 文化財保存活用地域計画の完成比率  | 単位            | R04年度    | R05年度         | 中間目標<br>年度    | 目標最終年度<br>R7年度                        | 国庫支出金                                 |                    | 1,101           | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |                                       |                                       |
|                      |  |   |               | 達成度      | %             |               | 133                                   |                                       |                    | 県支出金            |                                       |                                       | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | (計算式)完成した章数/文化財保存活用地域計画の章数  |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 使用料・手数料         |                                       |                                       | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 分担金・負担金等                              |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 財産収入            |                                       |                                       | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 繰入金                                   |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 諸収入             |                                       | 6                                     | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 繰越金                                   |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 地方債             |                                       |                                       | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 一般財源                                  |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 計               | 0                                     | 1,502                                 | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 歳出予算                                  | R04年度                                 |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 報酬              |                                       | 1,054                                 | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 共済費                                   |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 報償費             |                                       | 112                                   | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 旅費                                    |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 需用費             |                                       | 49                                    | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 計                                     | 0                                     |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 正職員             |                                       | 0.4                                   | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 再任用                                   |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 会計年度月額          |                                       |                                       | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 会計年度日額                                |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 計               | 0.00                                  | 1.40                                  | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 人件費合計(千円)                             | 0                                     |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 総費用(千円)         | 0                                     | 6,582                                 | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 | 人件費等の修正(千円)                           |                                       |                                       |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   |   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 0                                     | 6,582                                 | R05年度の主な収入内訳(名称等)<br>地域文化財総合活用推進事業補助金 |
|                      |  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |               |          |               |               |                                       |                                       |                    |                 |                                       |                                       |                                       |

|        |      |       |                    |        |       |       |       |
|--------|------|-------|--------------------|--------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-63 | 事務事業名 | 小都市文化財保存活用地域計画策定業務 | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |
| 事業No.  | 新規   | 開始年度  | 令和5年度              | 終了予定年度 | 令和7年度 | 施策コード | P4054 |
|        |      |       |                    |        |       | 作成責任者 | 文化財課長 |
| 2/2ページ |      |       |                    |        |       |       |       |

| 項目      | 令和5年度 事務事業担当課による点検・改善   |  | ＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善  |          |
|---------|---|--|--|----------|
|         | 評価  | 評価に関する説明   | 評価   | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性  | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。   | ○  |  |          |
|         | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。   | ○  | 法に基づいた計画策定であるため地域に委ねることはできない。事業の一部を民間企業へ委託することは可能であるが、直営で行うより費用を要するため、コスト削減・効率化の面で現在の方法が妥当である。 |          |
|         | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。<br>政策体系の中で優先度の高い事業か。  |  |  |          |
| 事業の効率性  | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。<br>一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | -  | 競争性の確保が求められる支出は需用費のみであるが、特定業者に偏らないよう発注先に配慮している。  |          |
|         | 競争性のない随意契約となったものはないか。   |  |  |          |
|         | 受益者との負担関係は妥当であるか。   | ○  | 事業は国庫補助金を主体としており妥当である。   |          |
|         | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。   | ○  | 事業に必要な不可欠な費用のみを計上しており妥当である。  |          |
|         | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。  | ○  | 国庫補助事業のため、内容を精査し、補助対象および事業目的に必要な費目のみを計上している。   |          |
|         | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）  | -  |  |          |
|         | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）  | -  |  |          |
|         | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。   | ○  |  |          |
| 事業の有効性  | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。  | ○  | 見込み通りの活動実績を上げている。  |          |
|         | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。                              | ○  | 文章作成や編集作業を民間企業へ委託する方法も考えられるが、直営で行うことで大きくコストカットができている。  |          |
|         | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。  | ○  | 目標に見合った実績を上げている。   |          |
|         | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。  | -  | 計画そのものは完成・文化庁認定後に活用するが、策定にあたって行っている文化遺産再調査の成果は文化財行政において別途活用している。                               |          |
| 関連事業    | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）                                     |  |  |          |
|         | 課名  |  |  |          |
|         | 連番  |  |  |          |
| 点検・改善結果 | 点検結果  | 計画完成後は、官・民・学・産など地域が一体となった文化財の保存活用を展開していくため、策定段階でさまざまな分野からの意見聴取や情報共有が求められる。 |  |          |
|         | 改善の方向性  | 事業期間内の計画完成と内容の充実のため、関係各所との協議や情報共有を引き続き行っていく。                               |  |          |

事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

|        |         |       |             |        |        |       |       |       |       |
|--------|---------|-------|-------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-64    | 事務事業名 | 市内文化財団体育成業務 |        | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | J000925 | 開始年度  | 不明          | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4053 | 作成責任者 | 文化財課長 |

|                         |  |   |              |       |           |               |                  |                    |                 |               |       |                   |     |
|-------------------------|--|---|--------------|-------|-----------|---------------|------------------|--------------------|-----------------|---------------|-------|-------------------|-----|
| 事業の目的                   | 市内には多種多様な文化財が存在し、その全てを行政が主体的に保存・管理することは不可能である。よって、各地域に文化財の保存団体を育成し、行政が日常的な管理等を支援する方法で、市内の文化財保護を図る。 |   |              |       |           |               |                  | 予算額・執行額<br>(単位:千円) | 当初予算            | R04年度         | R05年度 | R05年度の主な収入内訳(名称等) |     |
|                         | 事業概要   | 地域で文化財の保存活動を行っている団体へ、補助金を交付する。令和5年度は、7団体(①小郡市郷土史研究会[補助率27.1%、会誌製作に対する補助]、②福童將軍藤保存会[補助率84.2%、藤の維持管理]、③高卒都婆保存会[補助率64.1%、高卒都婆の管理]、④名馬池月の塚保存会[補助率65.8%、塚の管理]、⑤特定非営利活動法人 小郡市の歴史を守る会[補助率10.5%、文化遺産再発見事業の後継事業]、⑥「小郡のむかし」写真展実行委員[補助率74.2%、野口写真館に残る写真を中心にした写真展示会開催]、⑦天忍穂耳神社境内大クス保存会[崩落の危険のある大クスの枝の剪定])に交付した。なお、地域文化観光実行委員会は、当初の目的を達成したことを確認の上、発展的解消を行ったことにより、申請なし。 |              |       |           |               |                  |                    | 補正予算            | ▲ 508         | 720   |                   |     |
| 根拠法令、関係計画、通知等           |  | 文化財保護法第182条<br>小郡市歴史文化財基本構想   |              |       |           |               |                  |                    | 予算内訳<br>(単位:千円) | 前年度から繰越       |       |                   |     |
|                         | 活動目標及び活動実績1<br>(アウトプット)  | 活動指標  | 市内文化財保護活動団体数 | 活動実績  | 団体        | 6             | 7                | R06年度<br>活動見込      |                 | R07年度<br>活動見込 | 計     |                   | 646 |
| 当初見込                    |  |   |              | 団体    | 6         | 7             |                  |                    | 執行額             | 646           | 1,546 |                   |     |
| 活動目標及び活動実績2<br>(アウトプット) | 活動指標   |   | 活動実績         |       |           |               |                  | 執行率(%)             | 100%            | 89%           |       |                   |     |
|                         |  |   | 当初見込         |       |           |               |                  | 歳入予算               | R04年度           | R05年度         |       |                   |     |
| 単位当たりコスト                | 算出根拠   |   | 単位           | R04年度 | R05年度     |               |                  | 国庫支出金              |                 | 870           |       |                   |     |
|                         | X:総費用(単位:円) / Y:団体数(単位:団体)   |   | 単位当たりコスト     | 円     | 107,516.5 | 220,872.4     |                  |                    | 県支出金            |               |       |                   |     |
| 成果目標及び成果実績1<br>(アウトカム)  | 成果目標   | 令和10年度までに活動団体を12団体とする   | 単位           | R04年度 | R05年度     | 中間目標<br>R7 年度 | 目標最終年度<br>R10 年度 | 使用料・手数料            |                 |               |       |                   |     |
|                         | 成果指標   | 市内文化財保護活動団体数  | 成果実績         | 団体    | 6         | 7             | -                | -                  | 分担金・負担金等        |               |       |                   |     |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 成果指標   | 市内文化財保護活動団体数  | 目標値          | 団体    | -         | -             | 10               | 12                 | 財産収入            |               |       |                   |     |
|                         | 補足説明   | 指定文化財の増加に伴い、保存活動に取り組む団体も増加する。   | 達成度          | %     | 50        | 58            | -                | -                  | 繰入金             |               |       |                   |     |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  |   |              |       |           |               |                  | 地方債                |                 |               |       |                   |     |
|                         | 成果目標   |   | 単位           | R04年度 | R05年度     | 中間目標<br>年度    | 目標最終年度<br>年度     | 一般財源               | 646             | 861           |       |                   |     |
|                         |  |   | 成果実績         |       |           |               |                  | 計                  | 646             | 1,731         |       |                   |     |
|                         |  |   | 目標値          |       |           |               |                  | 歳出予算               | R04年度           | R05年度         |       |                   |     |
|                         |  |   | 達成度          | %     |           |               |                  | 負担金、補助及び交付金        | 646             | 1,731         |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 計                  | 646             | 1,731         |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 正職員                | 0.2             | 0.2           |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 再任用                | 0               | 0             |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 会計年度月額             | 0               | 0             |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 会計年度日額             | 0               | 0             |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 計                  | 0.20            | 0.20          |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 人件費合計(千円)          | 1,340           | 1,340         |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 総費用(千円)            | 1,986           | 2,886         |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 人件費等の修正(千円)        |                 |               |       |                   |     |
|                         |  |   |              |       |           |               |                  | 総費用(千円)※人件費等修正後    | 1,986           | 2,886         |       |                   |     |

|        |         |       |             |        |        |        |       |
|--------|---------|-------|-------------|--------|--------|--------|-------|
| シートNo. | 教-64    | 事務事業名 | 市内文化財団体育成業務 | 部・課・係  | 教育部    | 文化財課   | 文化財係  |
| 事業No.  | J000925 | 開始年度  | 不明          | 終了予定年度 | 終了予定なし | 作成責任者  | 文化財課長 |
|        |         |       |             |        |        | 2/2ページ |       |

| 項目                          | 令和5年度 事務事業担当課による点検・改善   |   | ＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善   |          |
|-----------------------------|---|---|---|----------|
|                             | 評価  | 評価に関する説明  | 評価  | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性                      | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。   | ○ 文化財課だけでなく、文化財を地域で守り継承していくために必要な補助である。   | ○ 文化財課だけでなく、文化財を地域で守るために必要な補助である。   |          |
|                             | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。   | ○ これまでに地域で守られてきており、これからも地域で守ることに意味がある。民間委託にそぐわない。   | ○ これまでに地域で守られてきており、これからも地域で守ることに意味がある。民間委託にそぐわない。   |          |
|                             | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。  | ○ 小都市歴史文化基本構想においても文化財が所在する地域との連携が柱となっており、現在策定中の小都市文化財保存活用地域計画にその主旨が具体的に盛り込まれることとなる。行政と地域が一体となって文化財を保存することは、これらの文化財保護・普及の理念に合致する。  | ○ 小都市歴史文化基本構想においても文化財が所在する地域との連携が柱となっており、行政と地域が一体となって文化財を保存することは、文化財保護・普及の理念に合致する。  |          |
| 事業の効率性                      | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。<br>一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | - 支出先は、各文化財の保存団体であり、入札は適切でない。   | - 支出先は、各文化財の保存団体であり、入札は適切でない。   |          |
|                             | 競争性のない随意契約となったものはないか。   |   |   |          |
|                             | 受益者との負担関係は妥当であるか。   | ○ 文化財の日常管理や修繕（治療を含む）に必要な経費の補助なので、行政負担が適当である。  | ○ 文化財の日常管理や修繕（治療を含む）に必要な経費の補助なので、行政負担が適当である。  |          |
|                             | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。   | - それぞれの文化財のよって価値基準が異なるため、単位当たりのコスト評価は難しい。   | - それぞれの文化財のよって価値基準が異なるため、単位当たりのコスト評価は難しい。   |          |
|                             | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。  | ○ 行政が、補助金の使途を精査している。  | ○ 行政が、補助金の使途を精査している。  |          |
|                             | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）  | -   | -   |          |
|                             | 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）  | -   | -   |          |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | △ 必要最小限の補助である。  | △ 必要最小限の補助である。  |   |          |
| 事業の有効性                      | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。  | △ 近年は環境の変化による文化財への自然災害被害が多く、見込み以上の実績となる場合が多い。   | △ 近年は文化財への自然災害被害が多く、見込み以上の実績となる場合が多い。   |          |
|                             | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。                              | ○ 民間委託の場合と比較し、低コストで実施できている。   | ○ 民間委託の場合と比較し、低コストで実施できている。   |          |
|                             | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。  | ○ 地域が主体的に文化財保護に取り組む例も見られ、成果目標に近づいている。   | ○ 地域が主体的に文化財保護に取り組む例も見られ、成果目標に近づいている。   |          |
|                             | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。  | ○ 近年、補助金交付により日常管理されている文化財は、保存のみでなく、地域活性化につながる活用にも力を注いでいる。   | ○ 近年、補助金交付により日常管理されている文化財は、保存のみでなく、活用にも力を注いでいる。   |          |
| 関連事業                        | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）                                     |   |   |          |
|                             | 課名  |   |   |          |
|                             | 連番  |   |   |          |
| 点検・改善結果                     | 点検結果  | 補助の必要性や補助額の妥当性の検証を行いつつ、進めている。<br>指定・未指定に関わらず、地域で守られてきた地域の文化財を守り伝える取り組みは、小都市歴史文化基本構想の柱であり、現在策定中の小都市文化財保存活用地域計画にもその主旨が盛り込まれる予定である。これらの取組と主旨は文化財課の目指してきた方向性と同じくしており、非常に重要で価値が高い。 | 補助の必要性や補助額の妥当性の検証を行いつつ、進めている。<br>指定・未指定に関わらず、地域で守られてきた地域の文化財を守り伝える取り組みは、小都市歴史文化基本構想の柱であり、文化財課の考える方向性と同じくしており、非常に重要で価値が高い。 |          |
|                             | 改善の方向性  | 各保存団体との関係性を強固にし、単なる継続事業としてだけでなく状況に応じた対応や新しい方向性の検討と人材の育成も協働で取り組むものである。   | 各保存団体との関係性を強固にし、単なる継続事業だけでなく状況に応じた対応や新しい方向性も協働で取り組むものである。   |          |

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

|        |      |       |             |        |       |       |       |       |       |
|--------|------|-------|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-65 | 事務事業名 | 花立山古墳群国指定業務 |        | 部・課・係 | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | 新規   | 開始年度  | 令和5年度       | 終了予定年度 | 令和8年度 | 施策コード | P4051 | 作成責任者 | 文化財課長 |

|                         |   |   |                   |       |            |               |               |               |                    |                   |                   |                   |                   |
|-------------------------|---|---|-------------------|-------|------------|---------------|---------------|---------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 事業の目的                   | 花立山古墳群は、花立山(城山)に所在する古墳時代後期の北部九州最大規模の群集墳である。古墳群は史跡としての価値も高く、景観の保全も含めて福岡県・文化庁と協議して、地権者から指定同意を得て、国史跡指定、遺跡の保存を行い、恒久的な保存活用を図る。 |   |                   |       |            |               |               |               | 予算額・執行額<br>(単位:千円) | 当初予算              | R04年度             | R05年度             | R05年度の主な収入内訳(名称等) |
|                         | 事業概要  | 国指定に向けた花立山古墳群調査指導委員会の設置、古墳群全体の航空レーザ測量、必要に応じた古墳群の内容確認発掘調査等を進める。その成果を調査報告書にまとめ、国指定への意見具申を行う。<br>古墳群は小郡市・筑前町にまたがっており、両自治体で協力して国指定に向けた意見具申を行う予定である。 |                   |       |            |               |               |               |                    | 補正予算              |                   | 4,771             |                   |
| 根拠法令、関係計画、通知等           |   | 文化財保護法第109条(指定)<br>小郡市歴史文化基本構想  |                   |       |            |               |               |               |                    | 前年度から繰越           |                   | 132               |                   |
|                         | 活動目標及び活動実績1<br>(アウトプット)   | 活動目標  | 花立山古墳群の史跡指定(同意)面積 | 単位    | R04年度      | R05年度         | R06年度<br>活動見込 | R07年度<br>活動見込 | 翌年度へ繰越             |                   |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |
| 活動目標及び活動実績2<br>(アウトプット) |   | 活動目標  | 地元との協議            | 単位    | R04年度      | R05年度         | R06年度<br>活動見込 | R07年度<br>活動見込 | 予備費等               |                   |                   |                   |                   |
|                         | 単位当たりコスト  | 算出根拠  |                   |       | 単位         | R04年度         | R05年度         |               | 計                  | 0                 | 4,903             | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |
| 成果目標及び成果実績1<br>(アウトカム)  |   | 成果目標  | 史跡指定予定範囲の同意率      | 単位    | R04年度      | R05年度         | 中間目標<br>年度    | 目標最終年度<br>8年度 | 執行額                |                   | 4,903             |                   |                   |
|                         | 成果指標  | 史跡指定予定範囲の指定率  | 目標値               |       |            |               |               | 執行率(%)        |                    | 100%              | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 補足説明  | (計算式)花立山古墳群の国指定(同意)範囲/花立山古墳群の国指定史跡として保護を要する範囲 (㎡)   |                   |       |            |               |               | 歳入予算          | R04年度              | R05年度             |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |
|                         | 補足説明  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |                   |       |            |               |               | 国庫支出金         |                    | 2,420             | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |
| 成果目標及び成果実績1<br>(アウトカム)  | 成果目標  | 単位  | R04年度             | R05年度 | 中間目標<br>年度 | 目標最終年度<br>8年度 | 歳出予算          | R04年度         | R05年度              | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |                   |
|                         | 成果指標  | 成果実績  |                   |       |            |               | 報償費           |               | 32                 | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |                   |
| 補足説明                    | 目標値   |   |                   |       |            | 費用弁償          |               | 31            | R05年度の主な収入内訳(名称等)  |                   |                   |                   |                   |
| 成果目標及び成果実績2<br>(アウトカム)  | 補足説明  | 達成度   | %                 |       |            |               | 委託料           |               |                    | 4,840             | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |
|                         | 補足説明  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |                   |       |            |               |               | 計             | 0                  | 4,903             |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |
| 投入工数<br>(単位:人)          | 正職員   |   |                   |       |            |               |               |               |                    | 0.4               | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |
|                         | 再任用   |   |                   |       |            |               |               |               |                    |                   |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |
| 総費用合計(千円)               | 会計年度月額  |   |                   |       |            |               |               |               |                    |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |
|                         | 会計年度日額  |   |                   |       |            |               |               |               |                    |                   |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |
| 人件費合計(千円)               | 計   |   |                   |       |            |               |               | 0.00          | 0.40               | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |                   |
| 総費用(千円)                 |   |   |                   |       |            |               |               | 0             | 2,680              |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |
| 人件費等の修正(千円)             |   |   |                   |       |            |               |               | 0             | 7,583              | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |                   |
| 総費用(千円)※人件費等修正後         |   |   |                   |       |            |               |               | 0             | 7,583              |                   | R05年度の主な収入内訳(名称等) |                   |                   |

|        |      |       |             |        |       |       |       |
|--------|------|-------|-------------|--------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-65 | 事務事業名 | 花立山古墳群国指定業務 | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |
| 事業No.  | 新規   | 開始年度  | 令和5年度       | 終了予定年度 | 令和8年度 | 施策コード | P4051 |
|        |      |       |             |        |       | 作成責任者 | 文化財課長 |
| 2/2ページ |      |       |             |        |       |       |       |

| 項目                           | 令和5年度 事務事業担当課による点検・改善                                     |   | ＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善 |          |
|------------------------------|---|---|---------------------------|----------|
|                              | 評価  | 評価に関する説明  | 評価                        | 評価に関する説明 |
| 事業の必要性                       | 事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。                               | 小郡市では文化財保存活用地域計画を令和5～7年度で策定する。特に花立山周辺は歴史だけでなく、古くからの景観も保全されており、地域の歴史文化を活かしたまちづくりが求められており、その柱の一つとなる事業である。 |                           |          |
|                              | 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。                                   | 史跡指定、遺跡の保存は地域や民間では実施できない。また、筑前町との共同事業である。   |                           |          |
|                              | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。                  | 近年、小郡インター周辺の民間開発が急速に増加している。花立山周辺も早急に遺跡の保護、景観の保全を市として行う必要がある。  |                           |          |
| 事業の効率性                       | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。                                  | - レーザ測量・赤色立体図化については、特許を有した企業のため、一者随契を行った。   |                           |          |
|                              | 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 有   |                           |          |
|                              | 競争性のない随意契約となったものはないか。                                     | 有   |                           |          |
|                              | 受益者との負担関係は妥当であるか。   | -   |                           |          |
|                              | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。   | -   |                           |          |
|                              | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。                            | ○ 内容を精査し、必要経費のみを計上している。   |                           |          |
|                              | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)                              | -   |                           |          |
| 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | -   |   |                           |          |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。  |   |   |                           |          |
| 事業の有効性                       | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。                                      | △ 国庫補助金の関係で、委託事業を2か年に分割して事業を進めている。  |                           |          |
|                              | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。  | -   |                           |          |
|                              | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。                                  | - 令和5・6年度は準備段階であるので、成果はまだ出ていない。   |                           |          |
|                              | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。                                  | -   |                           |          |
| 関連事業                         | 関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)         |   |                           |          |
|                              | 課名  |   |                           |          |
|                              | 連番  |   |                           |          |
|                              | 事業名   |   |                           |          |
| 点検・改善結果                      | 点検結果  | 令和5年度は概ね計画通り事業に着手出来ている。文化庁・福岡県・筑前町・地元と協議を重ねて、令和8年度の事業完了(国史跡指定具申)に向けて方針を固めることができている。                     |                           |          |
|                              | 改善の方向性  | 引き続き、文化庁・福岡県・筑前町・地元、関係各課と協議を綿密に行う必要がある。   |                           |          |



# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

|        |         |       |              |        |        |       |       |       |       |
|--------|---------|-------|--------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| シートNo. | 教-66    | 事務事業名 | 道路建設関係発掘調査業務 |        | 部・課・係  | 教育部   | 文化財課  | 文化財係  |       |
| 事業No.  | J000933 | 開始年度  | 不明           | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4051 | 作成責任者 | 文化財課長 |

|                      |  |   |        |          |       |               |               |                    |                 |         |       |              |                   |
|----------------------|--|---|--------|----------|-------|---------------|---------------|--------------------|-----------------|---------|-------|--------------|-------------------|
| 事業の目的                | 道路建設関連事業がスムーズに進むよう、福岡県久留米県土整備事務所や市役所関係各課と事前に十分な協議を実施し、計画的に発掘調査を行う。事業は、市役所都市建設部担当課からの執行委任により実施する。 |   |        |          |       |               |               | 予算額・執行額<br>(単位:千円) | R04年度           |         | R05年度 |              |                   |
|                      | 事業概要   | 道路建設に伴い破壊される埋蔵文化財を記録保存する事を目的として発掘調査を実施し、出土した遺物を保管するだけでなく、その成果を後世に伝えるための事業である。 |        |          |       |               |               |                    | 当初予算            | 8,003   | 2,004 |              |                   |
| 根拠法令、関係計画、通知等        |  | 文化財保護法第94条(埋蔵文化財発掘の通知)、同第99条(埋蔵文化財発掘調査の報告)                                    |        |          |       |               |               |                    | 補正予算            | ▲ 5,804 | ▲ 754 |              |                   |
|                      | 活動目標及び活動実績1 (アウトプット)   | 活動指標  | 発掘調査件数 | 単位       | R04年度 | R05年度         | R06年度<br>活動見込 | R07年度<br>活動見込      | 前年度から繰越         |         |       |              |                   |
| 活動実績                 |  | 件   |        | 1        | 1     |               |               | 翌年度へ繰越             |                 |         |       |              |                   |
| 活動目標及び活動実績2 (アウトプット) | 活動指標   |   | 単位     | R04年度    | R05年度 | R06年度<br>活動見込 | R07年度<br>活動見込 | 予備費等               |                 |         |       |              |                   |
|                      | 活動実績   |   |        |          |       |               |               | 計                  | 2,199           | 1,250   |       |              |                   |
| 単位当たりコスト             | 算出根拠   |   |        | 単位       | R04年度 | R05年度         |               |                    |                 |         |       |              |                   |
|                      | X:総費用(単位:円) / Y:調査件数(単位:件数)  |   |        | 単位当たりコスト | 円     | 2,195,680     | 1,249,231     |                    |                 |         |       |              |                   |
| 成果目標及び成果実績1 (アウトカム)  | 成果目標   |   | 単位     | R04年度    | R05年度 | 中間目標<br>年度    | 目標最終年度<br>年度  | 執行額                | 2,199           | 1,250   |       |              |                   |
|                      | 成果指標   |   | 成果実績   |          |       |               |               | 執行率(%)             | 100%            | 100%    |       |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 道路建設事業に先立つ発掘調査事業であり、文化財課が主体的に実施する事業ではないため、成果目標は設定できない。                        |        |          |       |               |               |                    | 歳入予算            |         | R04年度 | R05年度        | R05年度の主な収入内訳(名称等) |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 国庫支出金           | 1,098   | 620   | 社会資本整備総合交付金  |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 成果目標   |   | 単位     | R04年度    | R05年度 | 中間目標<br>年度    | 目標最終年度<br>年度  | 県支出金               |                 |         |       |              |                   |
|                      | 成果指標   |   | 成果実績   |          |       |               |               | 使用料・手数料            |                 |         |       |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 分担金・負担金等        |         |       |              |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 財産収入            |         |       |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 繰入金             | 198     | 26    | まちづくり支援基金繰入金 |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 諸収入             | 3       | 4     | 雇用保険個人負担金    |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 繰越金             |         |       |              |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 地方債             | 900     | 600   | 公共事業等債       |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 一般財源            | 0       |       |              |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 計               | 2,199   | 1,250 |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 歳出予算            | R04年度   | R05年度 | R05年度の主な使途   |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 報酬              | 817     | 863   | 会計年度任用職員報酬   |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 共済費             | 80      | 158   |              |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 旅費              | 13      | 13    | 会計年度任用職員通勤手当 |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 需用費             | 47      | 211   | 印刷製本         |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 役務費             | 6       |       |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 委託料             | 0       | 5     | 写真撮影委託       |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 使用料及び賃借料        | 1,236   |       |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 計               | 2,199   | 1,250 |              |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 正職員             | 0.2     | 0.2   |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 再任用             |         |       |              |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 会計年度月額          |         |       |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 会計年度日額          |         |       |              |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 計               | 0.20    | 0.20  |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 人件費合計(千円)       | 1,340   | 1,340 |              |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 総費用(千円)         | 3,539   | 2,590 |              |                   |
| 成果目標及び成果実績2 (アウトカム)  | 補足説明   | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 人件費等の修正(千円)     |         |       |              |                   |
|                      | 根拠として用いた統計・データ名(出典)  | 根拠として用いた統計・データ名(出典)   |        |          |       |               |               |                    | 総費用(千円)※人件費等修正後 | 3,539   | 2,590 |              |                   |

|        |         |       |              |        |        |       |        |
|--------|---------|-------|--------------|--------|--------|-------|--------|
| シートNo. | 教-66    | 事務事業名 | 道路建設関係発掘調査業務 | 部・課・係  | 教育部    | 文化財課  | 文化財係   |
| 事業No.  | J000933 | 開始年度  | 不明           | 終了予定年度 | 終了予定なし | 施策コード | P4051  |
|        |         |       |              |        |        | 作成責任者 | 文化財課長  |
|        |         |       |              |        |        |       | 2/2ページ |

| 項目      | 令和5年度 事務事業担当課による点検・改善 |   | ＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善   |  |
|---------|-----------------------|---|---|--|
|         | 評価                    | 評価に関する説明  | 評価  | 評価に関する説明   |
| 事業の必要性  | ○                     | 道路建設事業は市民や社会のニーズを反映して計画されており、これに先立つ発掘調査もその一環であるためニーズを反映しているといえる。                      | ○   | 道路建設事業は、市民や社会のニーズを如実に反映しており、それに伴う発掘調査も重要な事業である。                    |
|         | ○                     | 法定業務かつ専門性を要する事業であるため地域に委ねることはできない。民間企業への委託は可能であるが、直営で行うより費用・期間を要するため現在の方法が妥当である。      | ○   | 法定業務であり、地域に委ねることはできない。また、民間に委ねた場合、費用や期間が数倍となるため、現状の方法で実施するのが最適である。 |
|         | ○                     | 政策によって決定された道路建設事業に先立つ発掘調査のため、政策目的達成のため必要かつ適切な事業である。                                   | ○   | 政策によって決定された道路建設事業に伴う発掘調査なので、全体をスムーズに進めるため必要不可欠な事業である。              |
| 事業の効率性  | ○                     | 発掘調査に使用する機材賃貸借(重機、ユニットハウス等)や専門性の高い委託業務(空撮、出土遺物写真撮影)、一般的な委託業務(印刷製本)は毎年入札によって業者を選定している。 | ○   | 発掘調査で使用される機材(重機、ユニットハウス)や、専門性の高い業務委託(空中写真撮影)は、毎年入札によって業者を選定している。   |
|         | 無                     |   | 無   |  |
|         | 無                     |   | 無   |  |
|         | ○                     | 全国一律で事業の原因者負担としており妥当である。  | ○   | 全国一律で事業の原因者負担であり、妥当である。  |
|         | ○                     | 埋蔵文化財調査費用の九州基準を基に必要経費を積算しており、最低限のコストに抑えている。   | ○   | 必要経費を積算し予算を算出しているため、必要最低限のコストで抑えることができる。                           |
|         | ○                     | 必要な費用のみを計上している。   | ○   | 必要最低限の経費で計上している。   |
|         | -                     |   | -   |  |
| 事業の有効性  | ○                     | 事業実施期間中、担当課と緊密な情報共有を行うことで効率化を進めている。   | ○   | 調査中も地権者、工事関係者と十分に協議し、コスト削減と効率化を進めている。                              |
|         | ○                     | 見込みに見合った活動実績を上げている。   | ○   | 当初の見込み通り、十分な調査成果を得られただけでなく、予算内かつ期間内に調査を完了することができた。                 |
|         | ○                     | 民間企業へ委託するより事業期間・費用を抑えることができている。   | ○   | 民間業務委託より必要期間が短く、経費も必要最低限に抑えることができている。                              |
|         | ○                     | 事業実施後はスムーズに開発工事に移行しており、事業によって得られた成果は文化財行政において十分活用している。                                | ○   | 調査終了後は関係課にスムーズに引き渡し、開発工事に移行できている。                                  |
| 関連事業    |                       |   |   |  |
|         | 課名                    |   |   |  |
|         | 連番                    |   |   |  |
| 点検・改善結果 | 点検結果                  | 道路建設事業に先立つ発掘調査事業であるため、福岡県久留米県土整備事務所や市役所担当課との十分な情報共有と連携が求められる。                         | 道路建設事業に伴う発掘調査事業であり、文化財課が主体的に進める事業ではないため、久留米県土整備事務所や市役所の関係課と常に十分な情報共有が必要である。 |  |
|         | 改善の方向性                | 県・市の開発工事計画を把握し、担当部局との協議や情報共有を計画的に行っていく。   | 市役所内の道路建設部局と十分な協議を行い、さらに事前に県の工事計画を把握し、場合によっては協議するなど、計画的な取組と情報共有を行う。         |  |